



## 愛知県保護者会たより

### 平成 27 年度愛知県同窓会総会 懇親会出席報告

愛知県保護者会会長 高野 徹

平成 27 年度日本体育大学同窓会総会にあたり、懇親会に来賓として会長高野と副会長深見が出席しました。以下のように報告いたします。

懇親会は、平成 27 年 6 月 13 日（土）18 時より知立市の「ホテルクラウンパレス知立」にて出席総数 137 名にて盛大に開催されました。

来賓として、愛知県保護者会からは私の他、本多顧問、大見代議員、深見副会長が出席しました。大学からは、松浪健四郎理事長、今村裕常務理事、法人事務局総合企画部上席専門職の尾関庸一様、学生支援センター健志台事務局の石川優志様が出席しました。また今回は名城大学との連携協定締結があったため名城大学より吉久光一学長と難波輝吉秘書室長も出席されました。



波多野壽新会長ご挨拶

懇親会の冒頭のご挨拶は、16 時 30 分からの定例総会で役員の改選があり、檜村七甫会長が退任したため波多野壽新会長からご挨拶がありました。

来賓のご挨拶として、松浪理事長は、「2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて」のお話をされました。今までに 19 名の金メダリストと 32 個の金メダルを獲得した実績があり、2020 年大会の日本選手団に 70



松浪理事長来賓ご挨拶

人の現役在校生と卒業生を送り込む構想を実現させる強い意志を述べられました。パラリンピックにも強い思いがあり、スポーツは健常者だけのものではないとの考えから平成 29 年 4 月に向け日体大付属特別支援高等学校北海道学園の設立を決定していること、更に学生全員がボランティアとしてオリンピックに参加することを目指し、そのためには語学の習得が避けられないとの考えから、名城大学や東京外大と協定を結んだこと、また、昨年 6 月に組織委員会が 552 大学と連携協定を締結し、3 月 17 日現在 773 大学と締結となったことや 11 の地方自治体との連携を進め、スポーツによる健康増進や地域活性化のため、教職員や学生、オリンピックを派遣し指導や普及にあたることを話され、最後に世界一の体育大学を目指し「身体にまつわる科学と文化」の総合大学として存在感を示したいとの決意を話されました。



今村常務理事ご挨拶

次に今村常任理事のご挨拶があり、名城大学が2016年4月にナゴヤドーム前キャンパスを開設し、外国語学部を新設することを紹介し、ボランティア育成のための語学習得やスポーツの普及のためとの日体大と連携協定の趣旨を説明されました。また、入試志願者に関して、18歳人口が100万人減少下において平成26年度入試で受験生が6000人を超えたとのお話があり、200人定員を増やし1260人にしていく展望を語られました。

愛知県保護者会代表としては、先の総会に際し大学関係者や愛知県同窓会幹部の皆様のご出席や就職支援講演いただいたことにお礼を述べるとともに、教員採用のみならず新学部誕生による

公務員や企業採用においてもご支援ご協力をいただけるようお願いいたしました。

今年度新規で教員採用になった現役・OBを含めた卒業生のうち懇親会に出席された4名が壇上にて紹介され、一人ひとり自己紹介をすると、拍手にて祝福され和気あいあいとした雰囲気になりました。



今年度教員採用となった卒業生

最後に恒例の「エッサッサ」が始まり、全員が輪になって校歌・寮歌を声高らかに歌い日本体育大学の同窓会の強い繋がりを確認し合い万歳三唱を以って締めくくられました。

「愛知県同窓会旗」は西三河支部から来期の担当支部である名古屋支部に引き継がれ、閉会しました。



同窓会員による「エッサッサ」



本多顧問と松浪理事長



高野会長(左)と深見副会長(右)